



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,906	12.1	209	△14.9	215	△14.3	141	△16.5
2021年3月期第1四半期	2,592	2.1	246	△19.2	251	△19.0	170	△21.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 161百万円(△31.4%) 2021年3月期第1四半期 234百万円(△25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	45.93	—
2021年3月期第1四半期	52.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	18,771	13,545	71.0
2021年3月期	18,988	13,461	69.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 13,334百万円 2021年3月期 13,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,700	5.6	650	9.1	660	11.1	440	11.5	138.61
通期	12,000	1.6	1,470	2.3	1,500	2.8	1,020	2.8	321.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	3,420,000株	2021年3月期	3,420,000株
2022年3月期1Q	330,334株	2021年3月期	330,334株
2022年3月期1Q	3,089,666株	2021年3月期1Q	3,262,724株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）拡大に伴う企業活動の停滞による雇用環境の悪化や個人の外出自粛による消費低迷などが続き、総じて厳しい景況感で推移いたしました。また、政府による各種経済対策が講じられてきたものの、感染収束の時期が未だに見通せないことから、経済環境の先行きにつきましても極めて不透明な状況が続いております。

このような環境のもと当社グループは、お客様並びに従業員の安全・安心や健康面を最優先に感染防止策を講じたうえで、医療・介護・福祉等に関わる顧客ニーズの多様化を視野に、日々、状況に即した対応に努め、各種ノウハウの蓄積と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,906百万円（前期比12.1%増）、営業利益は209百万円（前期比14.9%減）、経常利益は215百万円（前期比14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は141百万円（前期比16.5%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19の世界規模での発生に伴い医療機関の外来・入院・手術・検査等が減少し、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量に影響を及ぼしました。このような環境のもと、COVID-19の感染症対策商材の拡販に努めてまいりました。また、配送コストやガス充填時にかかる費用など、ランニングコスト全般の見直しによる経費の削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は838百万円（前期比9.1%増）、セグメント利益は95百万円（前期比44.6%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関の幅広いニーズに対応すると共に、コロナ禍のなか感染防止に努め、きめの細かい営業活動を継続したことにより「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」ともに販売が好調に推移いたしました。一方、利益面では、事業拡大に伴う先行投資に伴う費用発生がございました。

これらの結果、売上高は1,327百万円（前期比11.6%増）、セグメント利益は45百万円（前期比65.7%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、コロナ禍の影響により病院の新築・増築などの設備投資が少なく低調に推移いたしました。また、営業体制の見直しによる経費削減にも努めました。

これらの結果、売上高は137百万円（前期比33.6%減）、セグメント利益は19百万円（前期比171.7%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動と顧客に適した商品のラインナップを強化したことにより在宅での福祉用具のレンタル・販売が堅調に推移しました。また、取扱商品を拡充することにより病院・施設への販売も強化されました。

また訪問看護事業は、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実が奏功し、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は214百万円（前期比20.7%増）、セグメント利益は9百万円（前期比67.5%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携のさらなる構築を図り、付加価値の高いサービスの提供と人材育成の体制強化を通じ、入居者様ならびにご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましてもコロナ禍のなか感染防止に努め、地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に応じることで、稼働率の向上に努めました。

これらの結果、売上高は92百万円（前期比16.1%増）、セグメント利益は4百万円（前期セグメント損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は18,771百万円(前連結会計年度末比216百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金が80百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が55百万円、土地が46百万円、投資有価証券が36百万円増加し、受取手形及び売掛金が496百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,226百万円(前連結会計年度末比300百万円減)となりました。これは主に、賞与引当金が46百万円、役員退職慰労引当金が44百万円増加し、支払手形及び買掛金が113百万円、未払法人税等が247百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は13,545百万円(前連結会計年度末比83百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が64百万円、その他有価証券評価差額金が21百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,412,714	8,492,887
受取手形及び売掛金	2,488,846	1,991,898
棚卸資産	132,235	142,820
その他	90,339	135,752
貸倒引当金	△2,227	△1,947
流動資産合計	11,121,908	10,761,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,112,473	1,101,768
土地	3,261,037	3,307,977
その他(純額)	1,438,192	1,505,533
有形固定資産合計	5,811,703	5,915,279
無形固定資産		
投資その他の資産	8,743	26,173
投資有価証券	947,067	983,152
その他	1,100,604	1,086,464
貸倒引当金	△1,766	△1,136
投資その他の資産合計	2,045,905	2,068,480
固定資産合計	7,866,352	8,009,933
資産合計	18,988,261	18,771,345
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,385,394	2,272,244
未払法人税等	324,494	77,347
賞与引当金	154,700	201,000
その他	1,263,270	1,215,463
流動負債合計	4,127,859	3,766,054
固定負債		
役員退職慰労引当金	757,770	802,500
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	636,166	652,536
固定負債合計	1,399,081	1,460,181
負債合計	5,526,940	5,226,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	528,801	528,801
利益剰余金	12,879,260	12,943,936
自己株式	△933,142	△933,142
株主資本合計	12,911,099	12,975,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263,226	284,796
退職給付に係る調整累計額	78,897	73,953
その他の包括利益累計額合計	342,124	358,750
非支配株主持分	208,097	210,583
純資産合計	13,461,320	13,545,109
負債純資産合計	18,988,261	18,771,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,592,180	2,906,095
売上原価	1,233,799	1,512,139
売上総利益	1,358,380	1,393,955
販売費及び一般管理費	1,111,599	1,184,057
営業利益	246,780	209,898
営業外収益		
受取利息	688	258
受取配当金	3,111	3,947
受取家賃	2,564	3,057
仕入割引	1,604	972
その他	715	1,006
営業外収益合計	8,684	9,242
営業外費用		
支払利息	1,389	2,078
災害による損失	2,200	—
その他	488	1,636
営業外費用合計	4,078	3,714
経常利益	251,387	215,426
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	251,387	215,426
法人税等	82,044	70,852
四半期純利益	169,343	144,573
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△656	2,655
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,000	141,917

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	169,343	144,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,808	21,622
退職給付に係る調整額	18,501	△5,165
その他の包括利益合計	65,310	16,457
四半期包括利益	234,654	161,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,478	158,544
非支配株主に係る四半期包括利益	175	2,486

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	768,446	1,189,769	207,826	177,923	79,894	2,423,860	168,319	2,592,180
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	10,768	—	—	10,768	—	10,768
計	768,446	1,189,769	218,595	177,923	79,894	2,434,628	168,319	2,602,948
セグメント利益 又は損失(△)	66,363	131,671	7,318	27,798	△5,032	228,120	18,660	246,780

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,120
「その他」の区分の利益	18,660
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	246,780

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	838,267	1,327,725	137,938	214,826	92,792	2,611,550	294,544	2,906,095
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	20,200	—	—	20,200	—	20,200
計	838,267	1,327,725	158,138	214,826	92,792	2,631,750	294,544	2,926,295
セグメント利益	95,953	45,201	19,887	9,024	4,484	174,551	35,346	209,898

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,551
「その他」の区分の利益	35,346
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	209,898

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。